

ふまのこ

121号

発行年月日

令和2年7月1日

発行

社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
救護施設 松山荘

〒027-0037

岩手県宮古市松山 8-19-1

☎0193 (62) 7921

発行責任者

施設長 山根 三夫



松山荘では毎週土曜日の午後にサークル活動を行っています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「3つの密」を避けて活動しています。写真は絵画サークルとカラオケサークルの活動の様子で、他にもビデオ鑑賞サークルがあります。

目次

●表紙

サークル活動の様子

.....

1

●施設長挨拶、苦情解決

.....

2

●令和元年度満足度調査結果

.....

3

●経営理念、新任職員紹介

.....

4

グループ内事業所

- ・松山荘（救護施設） 定員100人
- ・保護施設通所事業「さぽーと」 定員9人
- ・共同生活事業所「ちふな」 定員28人
- ・生活介護事業所「そら」 定員20人
- ・相談支援事業所「まつやま」

令和2年度 松山荘運営計画事業の重点項目

- 1 安心・安全なサービスの提供と支援技術の向上
- 2 人権擁護と虐待防止の徹底
- 3 災害時に強い施設づくり
- 4 日中活動（訓練）の充実と強化
- 5 働きがいと信頼のある職場づくり
- 6 地域生活移行の推進と地域生活を支える支援及びセーフティネット機能の提供
- 7 経営基盤の安定と意識共有

岩手県社会福祉事業団 経営理念

岩手県社会福祉事業団は、ご利用お客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

転入職員・新採用職員の紹介

上林 直士
生活指導員

出身地

青森市（育ちは盛岡市）

趣味

深夜の牛丼

宮古は初めての土地なので、毎日が緊張の連続です。小心者ですが、皆さんよろしく願います。

澤内 康次
生活指導員

出身地

一戸町

趣味

音楽鑑賞

利用者皆様が生きがいを感じられるような生活を提供できるよう努めていきます。よろしく願います。

瀬川 円
寮棟主任

出身地

花巻市

趣味

音楽鑑賞

宮古は初めての土地なのでまどことも多いですが、一日も早く仕事に慣れ、利用者・職員の皆さんと楽しく過ごしたいと思っています。よろしく願います。

大澤 広美
相談支援員

出身地

田野畑村

趣味

スポーツ観戦

4月からお世話になっております。皆様とお会いすることを楽しみに頑張りますので、よろしく願います。

小田 茉美
生活指導員

出身地

宮古市

趣味

映画鑑賞

利用者の方皆さん、一人一人にあった支援ができるよう頑張りたいと思います。よろしく願います。

小田 茉美
生活指導員

出身地

宮古市

趣味

映画鑑賞

利用者の方皆さん、一人一人にあった支援ができるよう頑張りたいと思います。よろしく願います。

全面禁煙のお知らせ
令和元年7月に施行された「改正健康増進法」の趣旨を汲み、令和2年2月1日から全面禁煙とさせていただきますのでご理解ご協力をお願いします。

編集後記

新型コロナウイルスの収束が見えない中、感染防止対策に追われ、活動もままならない状況ですが、一刻も早く、新型コロナウイルスが流行する前の日常に戻るようお願いしながら、日々、頑張っています。

佐々木

松山荘のホームページのQRコードです。施設の案内や行事等の様子を掲載しています。是非ご覧ください。





生活の充実を目指して

施設長あいさつ

施設長 山根 三夫

今年も誰かが予想していなかった新型コロナウイルスの脅威により、感染拡大防止の取り組みの必要性から、利用者ご家族の皆様にはご不便をおかけしております。8月中旬現在、利用者の皆様には外出時間及び外出先における滞在時間の制限など設けさせてもらっているところです。高齢者、健康に不安がある方が多数入所していることから、制限の範囲、解除の時期については悩むところであり、とても申し訳なく思っているところです。なお、ご家族の皆様には宮古市内で感染者が発生していない状況では集会室の特定の場所での面会は可能としておりますので、ご希望の方は事前のご連絡をお願いいたします。

また、例年ですと、松山荘3大行事は、地域の方に

も行事の企画の段階からご参加いただき、一緒に作り上げてまいりましたが、今年度は、フライングディスク大会の中止、夏祭りについては、松山荘内部での実施とさせていただくことといたしました。地域の方との接点の一つを減らしてしまふことはとても残念ですが、ご理解のほどお願いいたします。

さて、松山荘は令和2年度は在籍90人でスタートしました。平均年齢67・1歳と高齢化が進んでいることから、健康面の観察並びに通院等を速やかに実施するとともに、生活が充実するよう健康運動等の日中活動のあり方についてチームを作って検討を進めています。

また、定員充足には余裕があることから、福祉事務所、精神科病院等と協議の上、救護施設における利用が適切と考えられる方の利用について、積極的に受け入れを進めてまいります。

今年度は三年ごとの福祉サービス第三者評価受審の年でもあります。サービスの前進・向上が止まっているものはないか、利用者主体・合理的配慮の視点から気付きを忘れていないものはないかなど、改めてサービスを振り返りながら改善・向上を図ります。

「最後のセーフティネット施設」という観点からは、生活困窮者、DV被害者、障害者の再犯防止の支援等、施設利用者のみならず、救護施設のノウハウを生かした地域貢献にも努めてまいります。関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

上、救護施設における利用が適切と考えられる方の利用について、積極的に受け入れを進めてまいります。

今年度は三年ごとの福祉サービス第三者評価受審の年でもあります。サービスの前進・向上が止まっているものはないか、利用者主体・合理的配慮の視点から気付きを忘れていないものはないかなど、改めてサービスを振り返りながら改善・向上を図ります。

「最後のセーフティネット施設」という観点からは、生活困窮者、DV被害者、障害者の再犯防止の支援等、施設利用者のみならず、救護施設のノウハウを生かした地域貢献にも努めてまいります。関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年度に受け付けた、なんでも相談は191件でした。その中でも苦情相談として対応させていただいたものについて報告します。

①職員が思いをくみ取って聞いているか
②自立に向けた取り組みを始めているが職員間の連携が上手くいかないと感じる。
③問題を先延ばしにしている。
④守秘義務が守られていないのではないか。
③、④については同じ方からの苦情で「松山荘職員行動基準」にあげられている。それを守ってもらえれば文句はないです。」という厳しい内容でした。

職員会議、各寮棟会議でこれらの苦情について伝え、職員各々に自分自身の支援を振り返ってもらうとともに、職員が取り組んでいる倫理綱領や行動基準の読み合わせ、毎

令和元年度に受け付けた、なんでも相談は191件でした。その中でも苦情相談として対応させていただいたものについて報告します。

①職員が思いをくみ取って聞いているか
②自立に向けた取り組みを始めているが職員間の連携が上手くいかないと感じる。
③問題を先延ばしにしている。
④守秘義務が守られていないのではないか。
③、④については同じ方からの苦情で「松山荘職員行動基準」にあげられている。それを守ってもらえれば文句はないです。」という厳しい内容でした。

職員会議、各寮棟会議でこれらの苦情について伝え、職員各々に自分自身の支援を振り返ってもらうとともに、職員が取り組んでいる倫理綱領や行動基準の読み合わせ、毎

令和元年度に受け付けた、なんでも相談は191件でした。その中でも苦情相談として対応させていただいたものについて報告します。

①職員が思いをくみ取って聞いているか
②自立に向けた取り組みを始めているが職員間の連携が上手くいかないと感じる。
③問題を先延ばしにしている。
④守秘義務が守られていないのではないか。
③、④については同じ方からの苦情で「松山荘職員行動基準」にあげられている。それを守ってもらえれば文句はないです。」という厳しい内容でした。

職員会議、各寮棟会議でこれらの苦情について伝え、職員各々に自分自身の支援を振り返ってもらうとともに、職員が取り組んでいる倫理綱領や行動基準の読み合わせ、毎



令和元年度満足度調査結果

生活指導員 上林 直士

令和元年度において2回実施した満足度調査についての集計結果と考察をご紹介します。

調査は、1回目、2回目ともに同じ質問紙を使用し、各設問への回答を「満足」「どちらでもない」「不満」の3段階で、全利用者からの聞き取り調査を行いました。

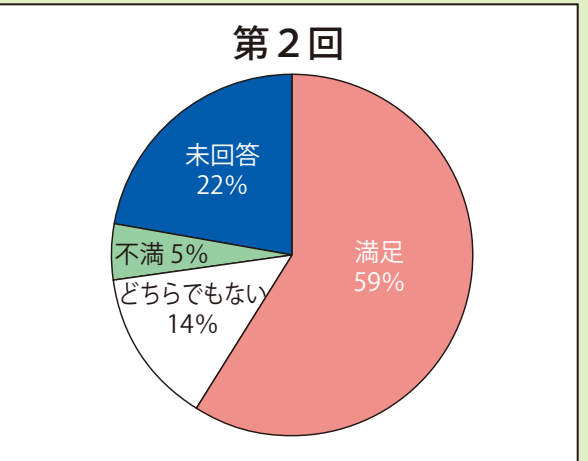
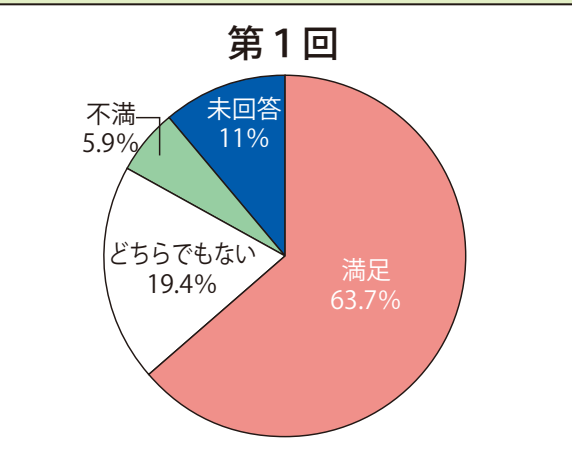
全体の結果では円グラフのとおり「満足」が63・7%から59%に下がっています。これは、入院者による未回答者が増えたためであり、未回答者を除いて集計すると満足は73・4%から76%に向上しています。

第1回の調査後、改善項目として掲げた「トイレはいつも清潔ですか」「行事や余暇活動について満足し

ていますか」、の項目では「不満」「どちらでもない」の割合が少なくなりました。

一方で、「職員は、健康面での相談に乗ってくれますか・職員は困った時に話を聞いたり助けたりしてくれますか」との項目に関しては、横ばいでの推移となっています。担当職員が不在時の利用者からの希望・要望の申し出に対する情報共有が満足度向上に必要となると考えられます。

令和元年度での調査の結果を踏まえ、利用者の皆様により良い生活を提供できるよう支援の質の向上に努めたいと思います。



各設問の回答状況（第2回）

（数値：回答数）

